

7月23日(日)発行



ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



**開幕！
ノット&東響、堂々の先制ゴール！**

7月22日(土) 東京交響楽団オープニング・コンサート

恒例の「フェスタサマーミュージックKAWASAKI」。いつものように、ホスト・オーケストラたる東京交響楽団が7月22日の開幕演奏会を飾った。指揮は昨年に続き、音楽監督ジョナサン・ノット。

プログラムは、シェーンベルクの《浄められた夜》とストラヴィンスキーの《春の祭典》。「静」と「動」の対比である。

真夏の音楽祭の冒頭を、冬枯れの木立の中を歩む男女の深刻な会話を描く重々しい《浄められた夜》で開くとは、ちょっと異色の発想だ。が、ノットが遅めのテンポで進めた東京響の弦楽合奏は、瑞々

しくシリアスに、主人公2人の心理の変化を語りつくしていた。

《春の祭典》は、予想通りの大スペクタクル。ノット得意の、揺るぎない、がっしりした構築による演奏で、鋭い強弱の対比と激烈なオーケストラの咆哮の中にも、決して節度を失わないのが彼の指揮である。

だが、沸騰する巨大編成の管弦楽による剛直な大音響が、ホールの底から轟然と吹き上がるさまは、やはり凄まじい。ティンパニの怒号が、金管群の吹く主題を打ち消し気味にしたところもあったとはいえ、東京響の演奏はあくまで剛

直であった。

ノットは、ここ川崎では圧倒的な人気を誇る。1週間前の定期演奏会と同様、楽員が退場したあとも拍手が止まらず、ソロでステージに呼び返されていた。

かくて、演奏の水準の高さ、客席の盛り上がりなどを含め、このホスト・コンジは、堂々の先制ゴールを決めたといえよう。

なお、ハワイエで売られている「気分爽快!ラムネ」なる、音楽祭オリジナル・グッズの菓子——これも、なかなか感じがいい。

(東条碩夫 音楽評論)



オープニング・ファンファーレ
華やかな響きに場内から拍手喝采!

7/22 東京交響楽団

お客様の声から♪

衝撃的プログラムの衝撃的名演(47歳・かもめ885) / 「浄められた夜」こんなに美しい曲とは知りませんでした。「春の祭典」やはりコンサートホールで聴くにかぎると実感しました。家でどんなに大音量で聴いても、この迫力は無理。この2曲のとりあわせがゼツミョウでした。ありがとうございました。(54歳・外山尚子) / 繊細かつ超超ダイナミックで、まさに「祭り」が始まったなど実感した。フェスタ幕開けにふさわしい演奏をたっぷり楽しみました。今年も暑い夏に負けずに元気にミュージックに通います!(げぶら) / いつものことながら、ノットさんのStoryには負けず! 昼過ぎではあるけれど、居眠りさせてくれないおもしろさ!! ありがとうございました(56歳・びよ)

【明日の朝刊休みます】

明日(7/24)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は7/25です。

▶▶NEXT!! フェスタサマーミュージック

東京シティ・フィルハーモニック
管弦楽団
《典雅なるバロック名曲集》

7/25(火) 15:00 開演 (11:00 開場)
ミュージアム川崎シンフォニーホール

指揮/村上寿昭
ヴァイオリン/有希 マヌエラ・ヤンケ

ヴィヴァルディ:「四季」
ヘンデル(ハーティ編):組曲「水上の音楽」
バッハ(マラー編):管弦楽組曲

リハ 11:30 ~ 公開リハーサル (自由席)



当日券あり

S,A,B席 計300枚程度

S: 4,000円

A: 3,000円

B: 2,000円

ヤング: 各席半額 (小学生以上 25歳以下の学生)

- 電話予約なし
- 4階カウンター 10:00 ~ 13:30 まで販売
- 当日券カウンター 14:00 ~ 販売
- ※13:30 ~ 14:00 の間は販売を休止いたします

巨匠ハンス＝オラ・エリクソンの素顔



2017年9月16日(土)19時開演
ミュゼ川崎シンフォニーホール

ハンス＝オラ・エリクソン
パイプオルガン・リサイタル
オルガンの多彩な様式美
～北・中部ドイツ・バロックから現代まで
※詳細はチラシ、ホームページをご覧ください

発売中
S3,000円
A2,000円

スウェーデン出身のオルガン界の巨人、ハンス＝オラ・エリクソンがミュゼにやってきます。オルガニストであると同時に、現代音楽作曲家である彼の紡ぎ出した今回のプログラムは、時代ごとの見事な様式感と、作曲家ならではの鋭い感性を聴かせてくれる、必聴のリサイタルです。じつは巨人エリクソンは、ホールアドバイザー松居直美さんのドイツ留学時代の友人でもありました。いったいどんな人なのか、その素顔を松居さんが教えてくださいました。(事業も)

我が友ハンス＝オラ

ドイツの音大に留学してレッスンが始まったころ、私の前にレッスンを受ける金髪色白で小太りの、愛嬌のあるキューピー人形のような快活な「男の子」がいた。日本的な師弟関係の風土しか知らず、しかもまだドイツ語がおぼつかなかった私には、先生と対等に論じ合っているその学生は驚嘆の的だったが、やがて彼が音大でも特別な存在なことが解ってくる。スウェーデンからやってきたこの青年は、すでに気鋭の

作曲家として頭角を現しており、音大では作曲科とオルガン科に籍を置く有名人で、しかもホルンを吹く年上の妻がいる早熟の奇才だったのだ。

しかし、素顔の彼は実に気さくで、私たちはけっこう気が合った。クラスで飲みに行き愛用の嗅ぎたばこを試させてくれたり、学内コンサートでバッハの大きな作品を素晴らしく演奏した後、練習でぼろぼろになったオルガンシューズを橋の上から川に投げ込んだり、スウェーデンに帰る時の盛大なさよならパーティーでの

大騒ぎなど、生き活きとした好青年の姿が、柔らかく歌うようなスウェーデン訛りと共に思い出される。

その彼も今やヒゲもいかめしい「エリクソン教授」になったが、私の中では今でも、ほがらかで自由な音楽人「ハンス＝オラ」である。久しぶりにあの素晴らしい演奏を聴くのを楽しみにしている。

松居直美
(オルガニスト)



QUIZ!
なるほど
ミュゼ

#2
ミュゼへと導くザルツブルグの鐘

【問題】

JR川崎駅からミュゼに向かう途中に「ザルツブルグの鐘」という塔が建っているのをご存知でしょうか？ミュゼとJR線のりば、そして、川崎市の友好都市でモーツァルト生誕の地「ザルツブルグ市」の方向を示しています。(ザルツブルグまでは9,350Kmで行けるのだそう！)

さて、ミュゼの方向を示す案内板の上には何の楽器が載っているのでしょうか？
→こたえは、この紙面の下(枠外)へ！

*シンフォニーホールの2階らせん階段横にある「ザルツブルグコーナー」にもレプリカや塔についての解説ボードがあります。ぜひお立ち寄りください。



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

アゼリア店とダイス店がありますが、今回はアゼリア店にお邪魔しました。気軽に三崎港の新鮮魚介を堪能できます。

暖簾をくぐると「へい!いらしゃい!」と活きのいい声が。昼過ぎでしたが満席でした。

しかし、回転すしだけあって回転が良く?少し待つと奥のテーブル席が空きゆっくりいただくことが出来ました。

まずは大好きなサーモンやしまあじ。そしてマグロ三味、美味!夏季限定のメニューもあり。あじのな

めろう軍艦はおすすめ。最後には豚カルビや鶏のから揚げ、大学いもまでいただきます。期間中5% Off (アゼリア店) です!

(事業課 KY.)



友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/11まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージックの会

- ・年会費3,000円
- ・チケット割引・優先予約などお得な6つの特典

詳しくは友の会入会窓口(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方にプレゼント!

サマーミュージック公演のチケットをご購入の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】1本をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください。



当日の感動をすぐお届け!!

ほぼ
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza



バックナンバーは
ミュゼホームページ
でも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

「まじゅう」というアイデアが残りませんでした。理由は「職場で配布できるから」。しかしながら「まじゅう」は賞味期限やコストの問題があり断念。「サマーミュージック」に行ってみました。というのをきりげなくアピールできるモノというところで検討を重ねた結果、「ラムネ」を作ることに。デザイナーさんに楽器のイラストをあしらっていただき、ラムネにプリントしました。10個入り150円(税込)。ミュゼ内の音楽雑貨ショップで販売しています。ぜひ職場や学校へのおみやげにご購入下さい

広報 M

スタ
ツ
フ
日
誌